

施工説明書

基礎断熱工法用シロアリ返し
基礎断熱工法用断熱ブロックTPR-N75 / TPR-N95 / TPR-N120 / TPR-N145
HIB-3040 / HIB-3545 / HIB-5060

この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

正しく据え付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 注意



この記号は、禁止の行為を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。



本製品に対して**加熱や不要な打撃を加えない**でください。

施工についてお願い

共通

本製品は基礎に断熱材が貼ってある側に施工してください。

本製品に加工を施す場合は、長さ調節の切断のみとします。

カッターナイフや丸鋸などを用いて本製品に加工を施す際は、安全に十分注意して行ってください。

基礎断熱工法用シロアリ返しと基礎断熱工法用断熱ブロックは、別売品です。
基礎断熱工法用シロアリ返しと基礎断熱工法用断熱ブロックは、基本的にセットで使用してください。

基礎断熱工法用シロアリ返し

基礎天端および断熱材の天端が水平(平滑)に仕上がっているかを確認してください。

基礎天端または断熱材の天端に水、木くずなどの異物がないように清掃してください。基礎天端などに異物があるとブチルテープが付着しないことがあります。

基礎断熱工法用シロアリ返しの貼りつけ時には、表面の傷防止のためローラーや柔らかい布などを巻きつけたもので圧着してください。

出隅、入隅部分はブチルテープ同士の間に隙間が生じないようにジョイント用テープを使って施工してください。ブチルテープ同士の間に隙間が生じると、そこからシロアリが侵入する恐れがあります。

基礎断熱工法用断熱ブロック

出隅・入隅・ジョイント部は、隙間が生じないようにしっかりと突きつけてください。

基礎断熱工法用断熱ブロックのはくり紙をはがして貼りつける際は、土台との間に隙間が生じないようにしっかりと基礎断熱工法用気密パッキン(土台)側に押しつけ貼りつけてください。

断熱ブロック留め付け具は、成形の都合上、製品の小口部分がくぼむ場合がありますが、使用上に支障はありません。

断熱ブロック留め付け具は、断熱材の厚みに応じて適切なサイズを選択してください。

断熱ブロック留め付け具は、目印となるラインがついた側の天面のビス穴で、ビス留めしてください。

断熱ブロック留め付け具をビス留めする際は、土台・基礎側に押しつけて墨出し線が見えるまでビス留めしてください。

断熱ブロック留め付け具を設置後、水平器で水平を確認してください。

※次ページ以降、本文とイラストにおいて基礎断熱工法用シロアリ返しをシロアリ返し、基礎断熱工法用断熱ブロックを断熱ブロック、基礎断熱工法用気密パッキンを気密パッキンと省略します。なお、タイトルや製品寸法図、製品仕様、納まり図は正式名称で記載します。

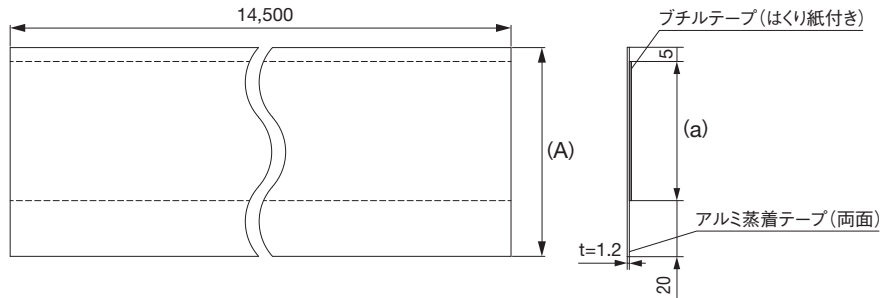
基礎断熱工法用シロアリ返し

製品仕様

品 名	基礎断熱工法用シロアリ返し			
品 番	TPR-N75	TPR-N95	TPR-N120	TPR-N145
製品長さ、厚み	14,500×1.2mm			
製品幅 (A)	75mm	95mm	120mm	145mm
プチルテープ幅 (a)	50mm	70mm	95mm	95mm
入 数	2巻/ケース			
付属品	ジョイント用テープ (50×120mm)×16枚			

製品寸法図 (単位: mm)

基礎断熱工法用シロアリ返し: TPR-N75/TPR-N95/TPR-N120/TPR-N145



基礎断熱工法用断熱ブロック

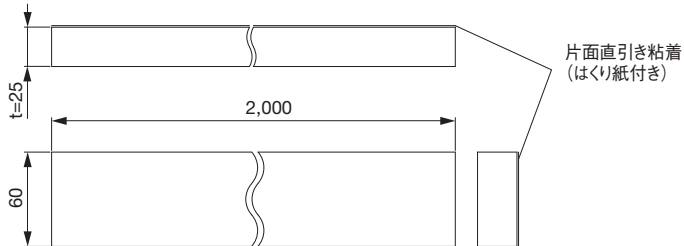
製品仕様

品 名	基礎断熱工法用断熱ブロック			断熱ブロックピースタイプ	
品 番	HIB-3040	HIB-3545	HIB-5060	HIB-1860-L012	HIB-3360-L012
製品寸法 (断熱ブロック)	60×25×2,000mm			18×60×120mm	33×60×120mm
製品寸法 (留め付け具)	30×40×2,000mm	35×45×2,000mm	50×60×2,000mm	—	
入 数	5本/ケース			40本/ケース	
付属品	留め付け用ビス (Ø3.8×51mm)×30本	留め付け用ビス (Ø3.8×57mm)×30本	留め付け用ビス (Ø4.2×75mm)×30本	—	

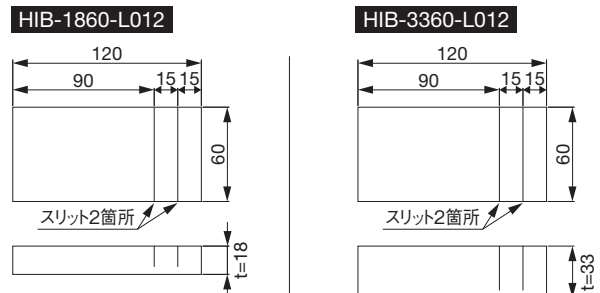
製品寸法図 (単位: mm)

基礎断熱工法用断熱ブロック: HIB-3040/HIB-3545/HIB-5060

● 基礎断熱工法用断熱ブロック



● 断熱ブロックピースタイプ



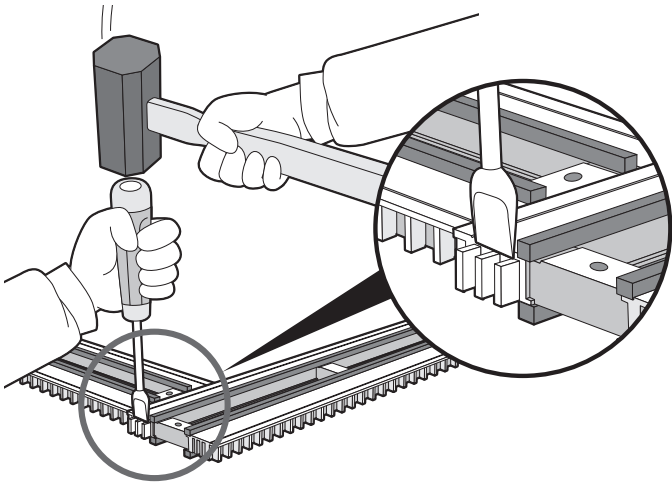
● 断熱ブロック留め付け具



※ () 内の数字はHIB-3545、[] 内の数字はHIB-5060の寸法です。

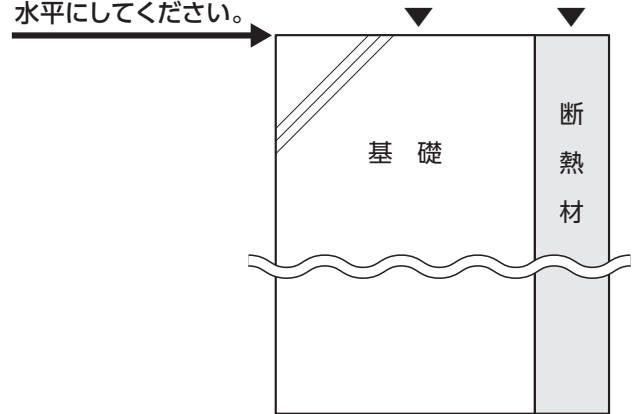
施工の前に

- 出隅部分は、気密パッキンのジョイント部分が断熱ブロックに干渉するため、あらかじめノミなどを用いて気密パッキンのジョイント部分を切断してください。



- 基礎天端と断熱材の天端に水、木くずなどの異物がないこと
- 基礎天端と断熱材の天端が水平(平滑)であること
- 基礎天端と断熱材の天端の高さが同じであることを確認してください。

水平にしてください。



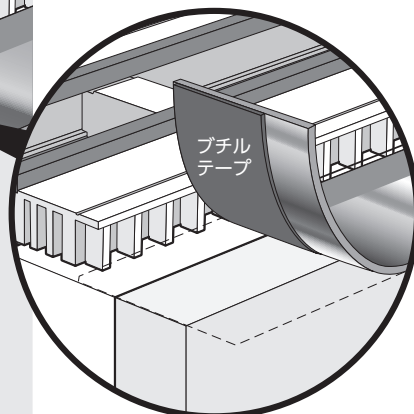
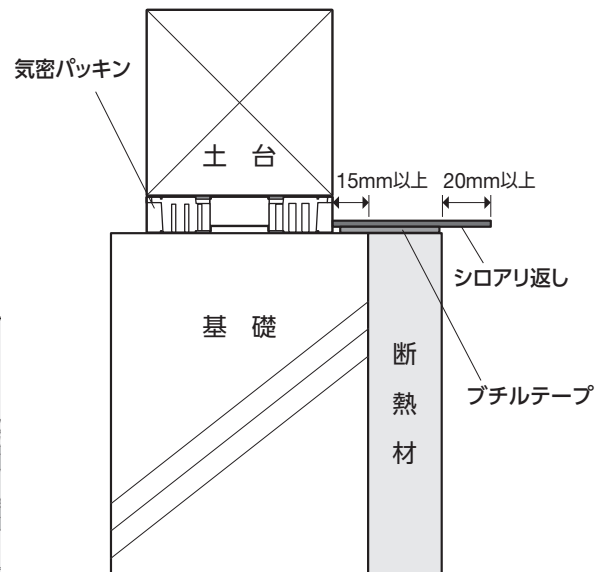
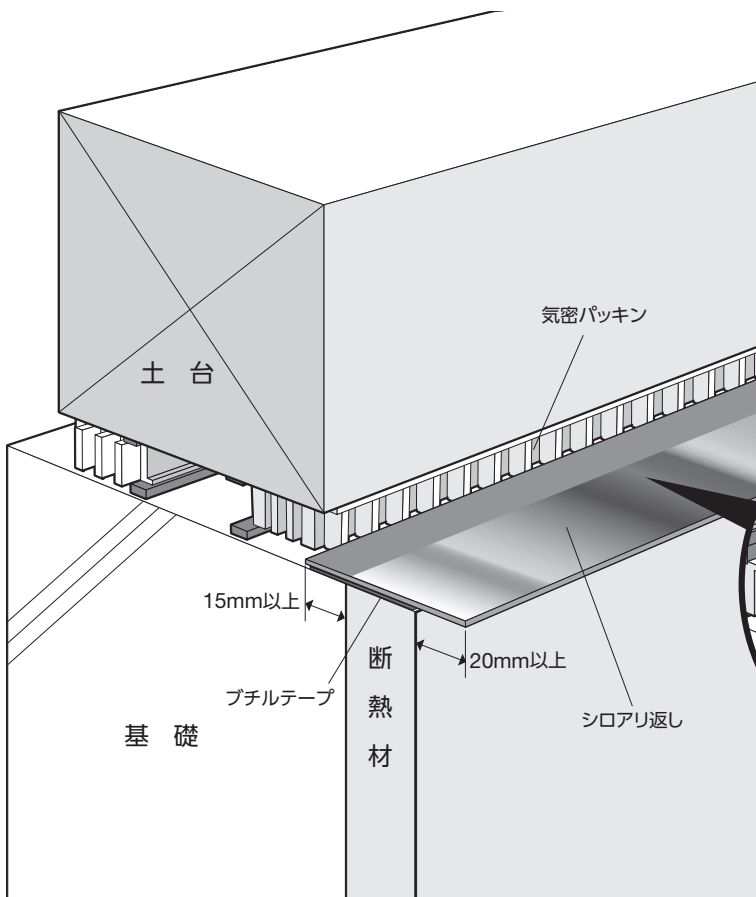
施工ルール



指示に従う

必ず以下の要件を満たし、正しい施工を行ってください。施工不良の場合、十分な性能を発揮できない恐れがあります。

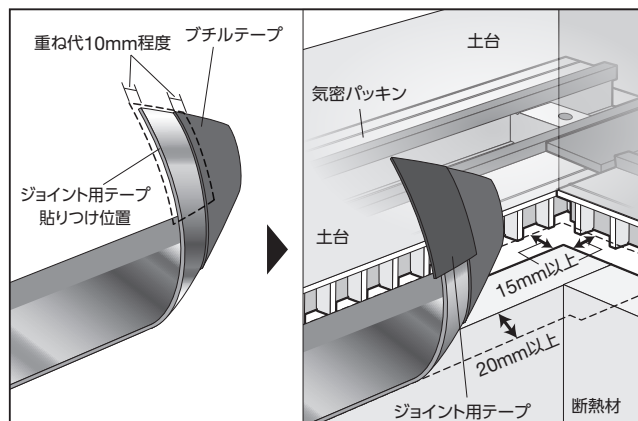
気密パッキン端部から基礎端部まで15mm以上あるか確認してください。また、シロアリ返しを基礎天端に15mm以上かぶせた際に、シロアリ返しが断熱材端部より20mm以上張り出すことを確認してください。



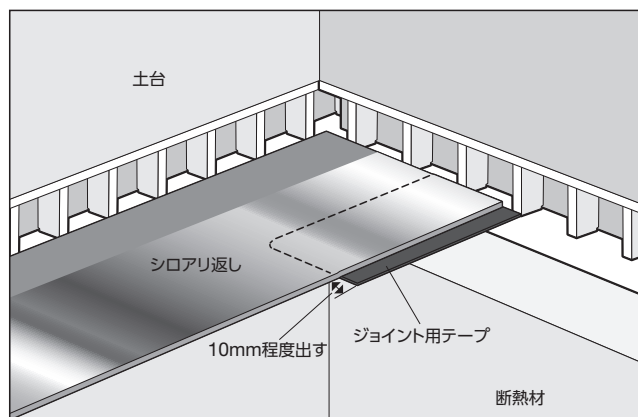
施工手順（断熱材入隅部分）

TPR-N75/N95/N120の場合

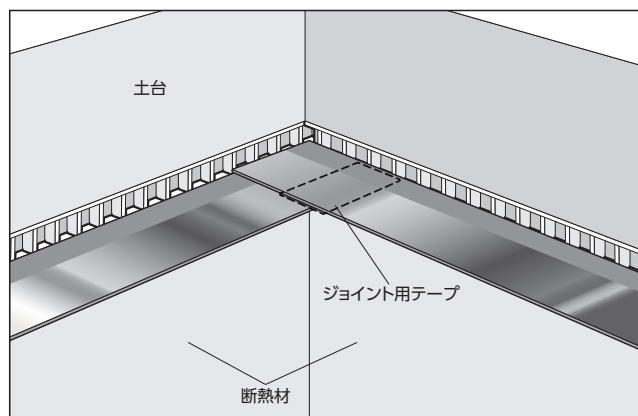
- 1 シロアリ返しのはくり紙をはがし、基礎天端に15mm以上かぶせて貼るようにしてください。
また、入隅部分は、下図を参考にあらかじめ付属のジョイント用テープを貼りつけて施工してください。
※この施工を行わないとシロアリの侵入口になる恐れがあります。



- 2 シロアリ返しのはくり紙をはがし、下図のように入隅部の施工を行ってください。
※貼りつけ位置の確認を行い施工してください。



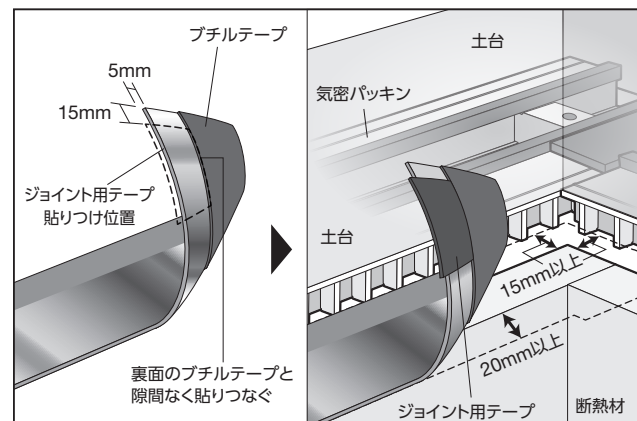
- 3 次にもう片側にもシロアリ返しを上から重ねるように施工してください。(ジョイント用テープの貼りつけは必要ありません)
※ローラーや柔らかい布などを巻きつけたもので圧着してください。また、必ずシロアリ返し同士プチルテープ部分が重なるように施工してください。



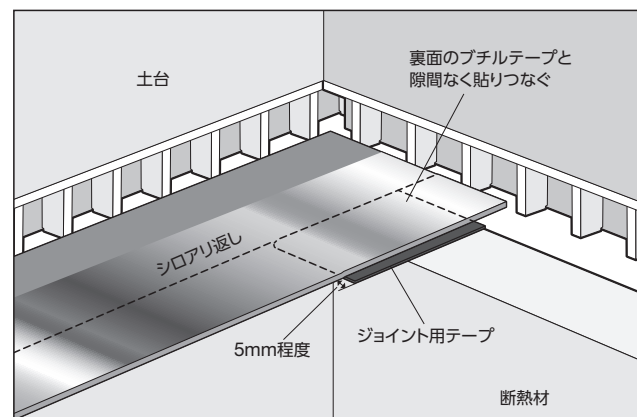
施工手順（断熱材入隅部分）

TPR-N145の場合

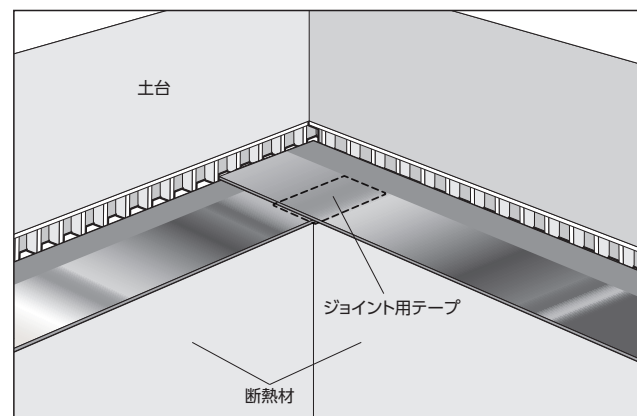
- 1 シロアリ返しのはくり紙をはがし、基礎天端に15mm以上かぶせて貼るようにしてください。
また、入隅部分は、下図を参考にあらかじめ付属のジョイント用テープを貼りつけて施工してください。
※この施工を行わないとシロアリの侵入口になる恐れがあります。



- 2 シロアリ返しのはくり紙をはがし、下図のように入隅部の施工を行ってください。
※貼りつけ位置の確認を行い施工してください。



- 3 次にもう片側にもシロアリ返しを上から重ねるように施工してください。(ジョイント用テープの貼りつけは必要ありません)
※ローラーや柔らかい布などを巻きつけたもので圧着してください。また、必ずシロアリ返し同士プチルテープ部分が重なるように施工してください。

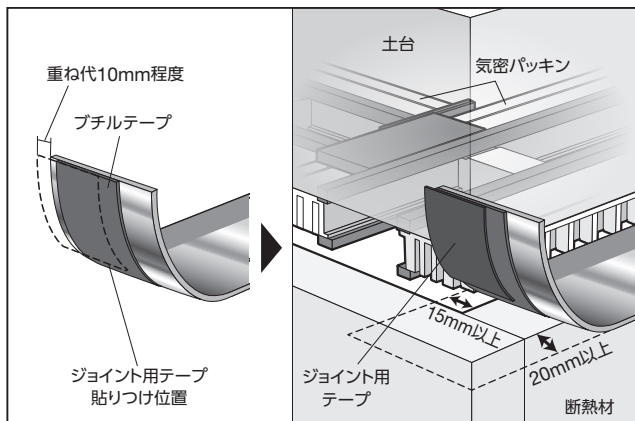


※付属のジョイント用テープは長さ120mmです。TPR-N75/TPR-N95で利用の際はシロアリ返し幅に合わせてカットしてください。

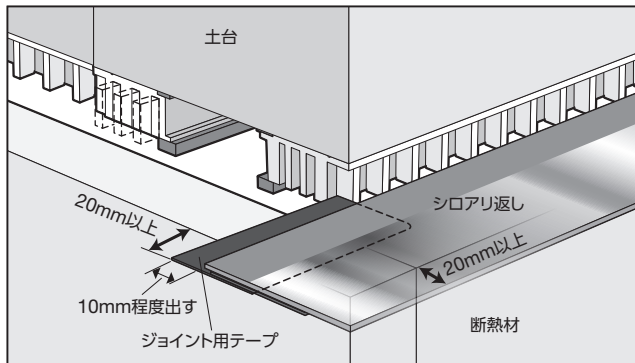
4 TPR-N145で利用の際はシロアリ返しの外側に合わせてください。

施工手順（断熱材出隅部分）

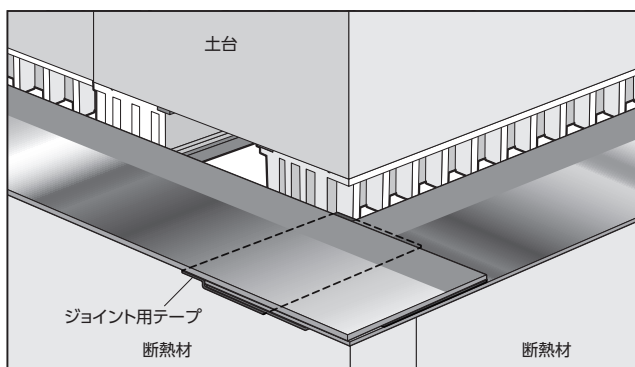
- 1 シロアリ返しのはくり紙をはがし、基礎天端に15mm以上かぶせて貼るようにしてください。
また、出隅部分は、下図を参考にあらかじめ付属のジョイント用テープを貼りつけて施工してください。
※この施工を行わないとシロアリの侵入口になる恐れがあります。



- 2 シロアリ返しのはくり紙をはがし、下図のように出隅部の施工を行ってください。
※出隅部分は気密パッキンのジョイント部分が断熱ブロックに干渉するため、あらかじめノミなどを用いて気密パッキンのジョイント部分を切断してください。
※貼りつけ位置の確認を行い施工してください。



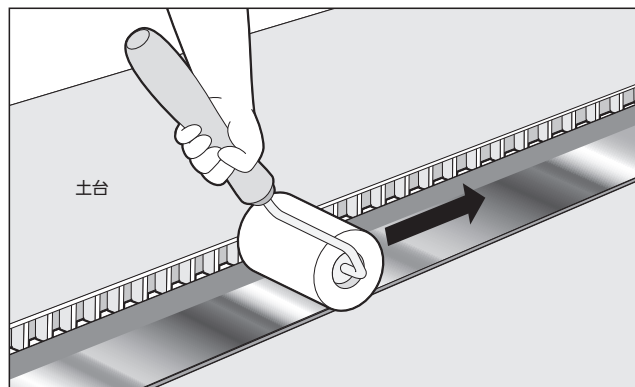
- 3 次にもう片側にもシロアリ返しを上から重ねるように施工してください。（ジョイント用テープの貼りつけは必要ありません）
※ローラーや柔らかい布などを巻きつけたもので圧着してください。また、必ずシロアリ返し同士ブチルテープ部分が重なるように施工してください。



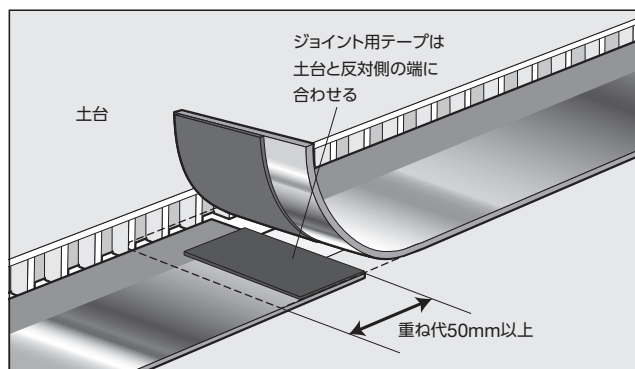
施工手順（直線部）

- 1 ジョイント用テープの施工がありますので出隅・入隅部分から施工を始めてください

シロアリ返しのはくり紙をはがし、基礎天端と断熱材の天端に貼りつけます。圧着する際は、表面に傷つかないようにローラーや柔らかい布などを巻きつけたもので行ってください。（貼り付け位置は3ページの「施工ルール」をご確認ください。）

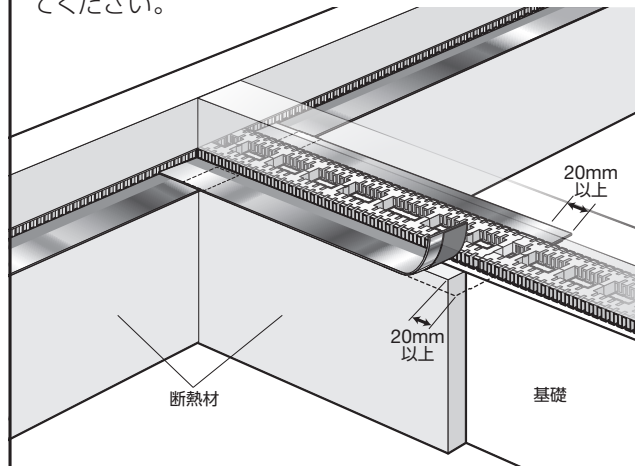


- 2 シロアリ返し同士をつなげる場合、シロアリ返し同士を50mm以上重ねて施工してください。また、下図を参考にあらかじめ付属のジョイント用テープを貼りつけて施工してください。
※この施工を行わないとシロアリの侵入口になる恐れがあります。



基礎がT字部分の納まり

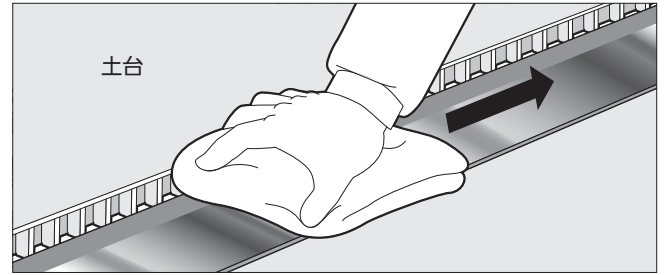
断熱材が貼ってある基礎の部分まで施工してください。断熱材の断面から20mm以上張り出すように施工してください。



※付属のジョイント用テープは長さ120mmです。TPR-N75/TPR-N95で利用の際はシロアリ返しの幅に合わせてカットしてください。TPR-N145で利用の際はシロアリ返しの外側に合わせてください。

施工の前に

- シロアリ返しの表面に水、木くずなどの異物がないように、乾いた柔らかい布などでシロアリ返しの表面を清掃してください。

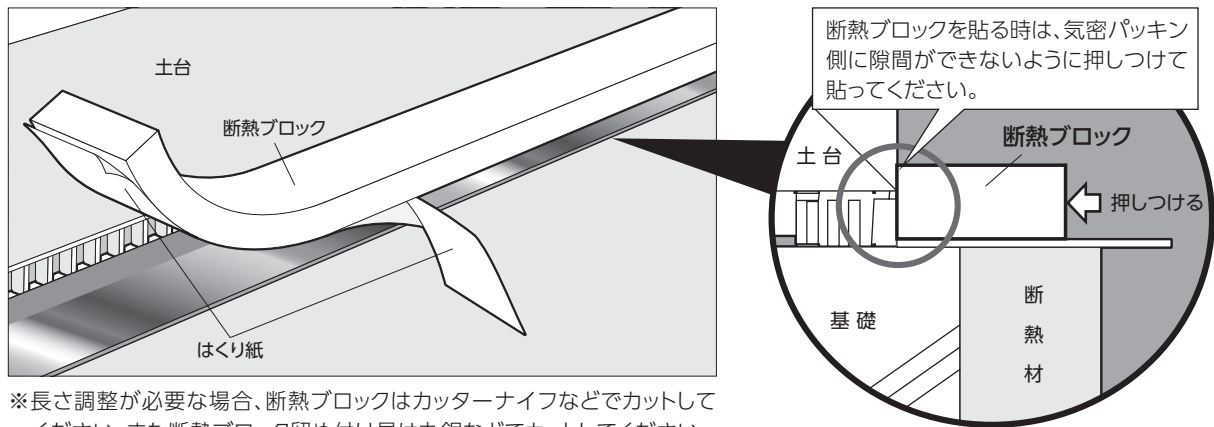


施工手順 (直線部)

大引き敷き込み前に施工する場合

- 断熱ブロックのはくり紙をはがし、シロアリ返しの天端に断熱ブロックを貼りつけます。断熱ブロックのはくり紙を一気にはがさずに貼りながら少しずつはがしてください。

※断熱ブロックと土台との間に隙間が生じないようにしっかりと気密パッキン(土台)側に押しつけて貼り付けてください。

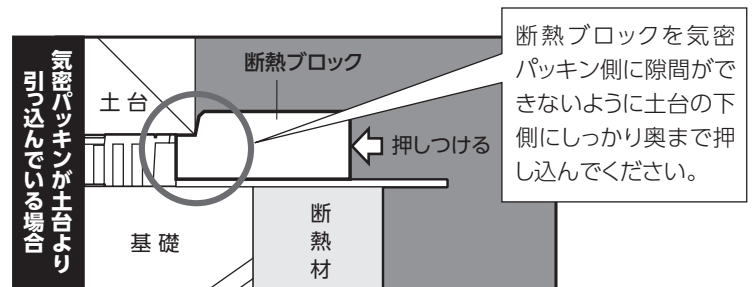


※長さ調整が必要な場合、断熱ブロックはカッターナイフなどでカットしてください。また断熱ブロック留め付け具は丸鋸などでカットしてください。

大引き敷き込み後または下図の納まりで施工する場合

- 気密パッキンが土台より引っ込んでいる場合は、断熱ブロックのはくり紙をはがさず、シロアリ返しの天端に敷き込んでください。

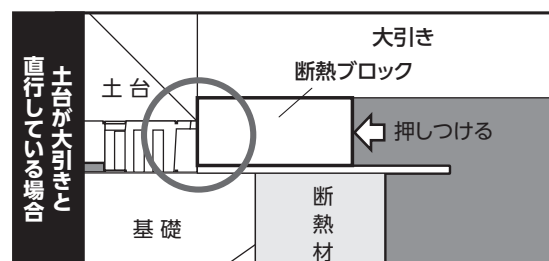
※断熱ブロックと土台との間に隙間が生じないようにしっかりと奥まで気密パッキン(土台)側に押し込んでください。また、土台と大引きが直交する部分は、大引きとシロアリ返しの隙間にしっかりと奥まで押し込んで敷き込みしてください。



- 大引きと直交する部分に断熱ブロックを施工する場合は、断熱ブロックを大引き間の長さにカットし、はくり紙をはがしてシロアリ返しの天端に敷き込みしてください。大引きが直交する部分は、別売品の断熱ブロックピースタイプをご使用ください。施工方法は、8ページをお読みください。

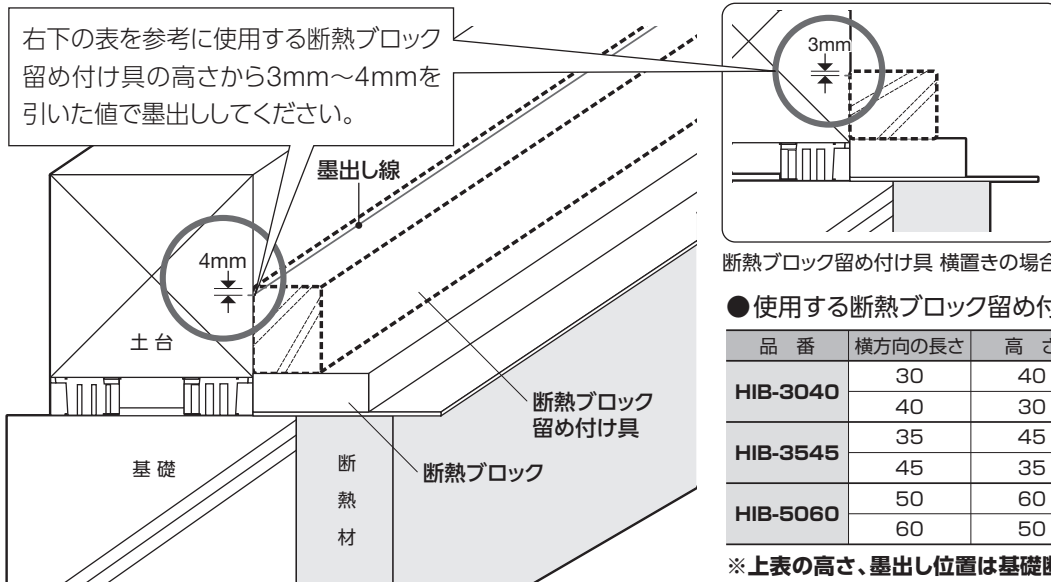
※別売品の断熱ブロックピースタイプをご使用されない場合は、断熱ブロックを大引きの幅に合わせてカットしはくり紙をはがさずに差し込むことも可能です。

※大引きと基礎天端との距離が25mm未満や大引きと断熱ブロックに隙間ができる場合は、別売品の断熱ブロックピースタイプをご使用ください。



基礎断熱工法用断熱ブロック

●使用する断熱ブロック留め付け具の長さ(向き)に応じて、基準となる位置に墨出しをしてください。



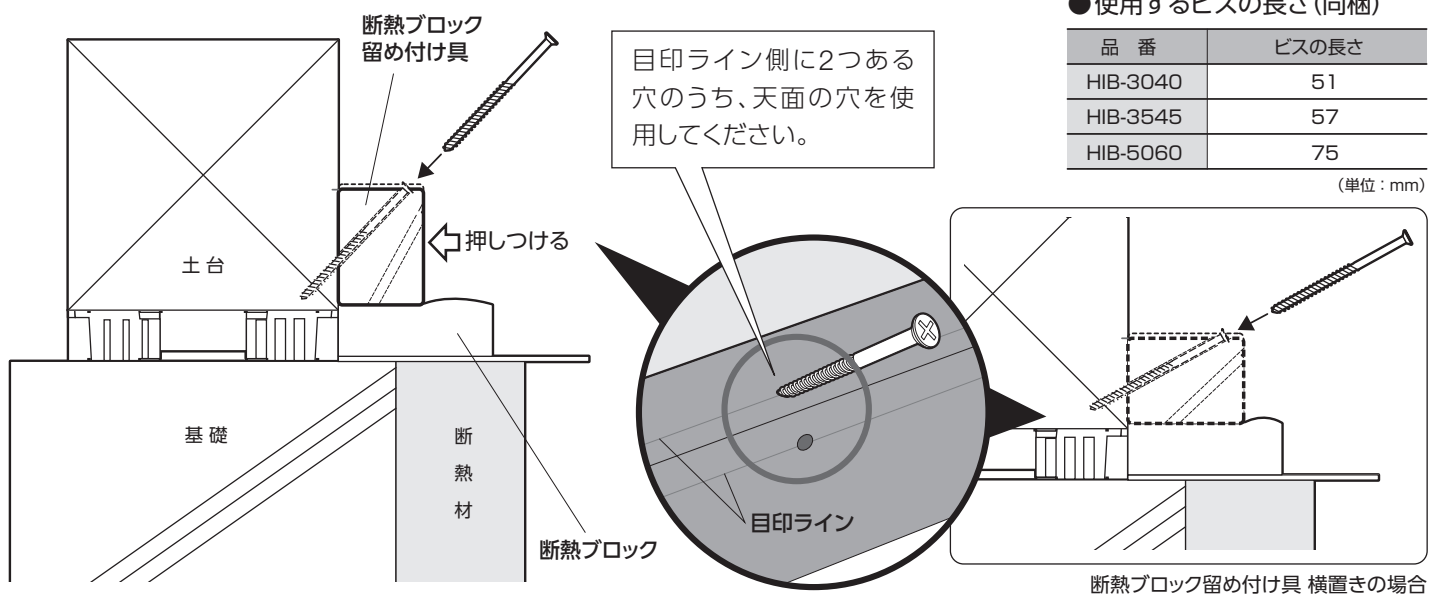
●断熱ブロック留め付け具を設置し、墨出し線が見えるまで同梱のビスで留め付けてください。

※ビス留めは、目印ラインがある天面の穴でビス留めしてください。

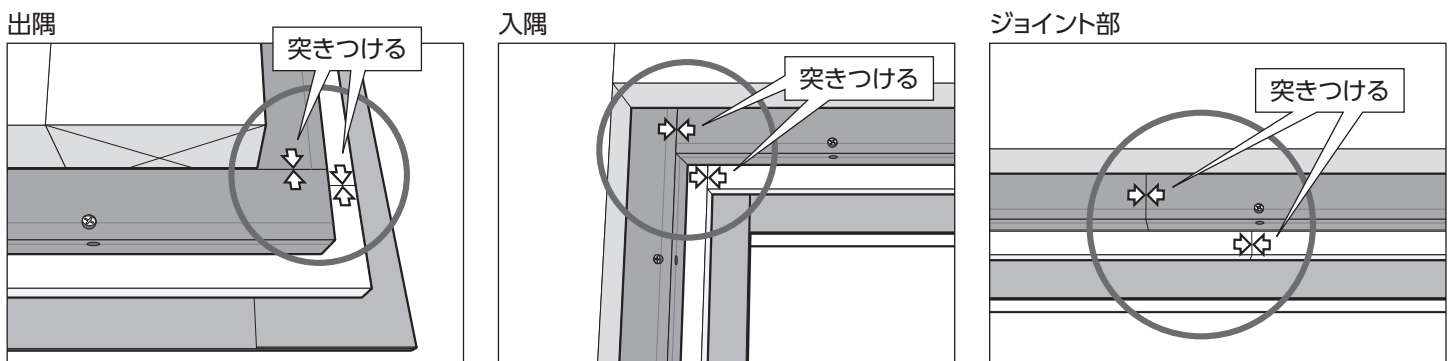
※ビス留めする際は、気密パッキン(土台)側に隙間が生じないように、しっかりと断熱ブロックと断熱ブロック留め付け具を土台・基礎側に押しつけてビス留めしてください。

※設置した後、水平器で断熱ブロック留め付け具の水平を確認してください。

※『断熱ブロック留め付け具』をカットする場合、位置によってはビス穴が無くなる事があります。その場合、『断熱ブロック留め付け具』を断熱材に押しつけ、上端が墨出し線に揃うように2カ所以上留め付けてください。



施工手順(出隅・入隅、ジョイント部)

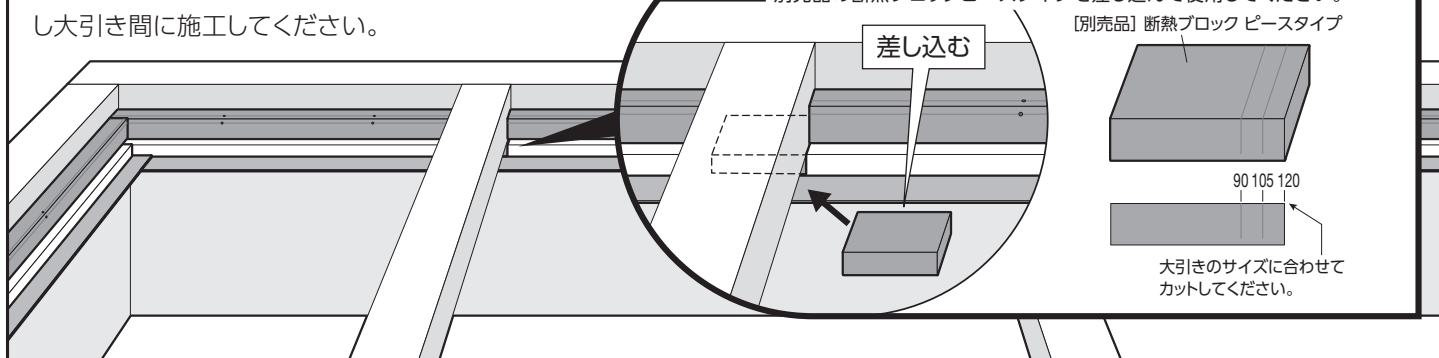


出隅や入隅、ジョイント部は、断熱ブロックおよび断熱ブロック留め付け具に隙間が生じないようにしっかりと突きつけてください。

内張断熱の場合で大引きがくる納まり

断熱ブロック留め付け具を必要なサイズにカットし大引き間に施工してください。

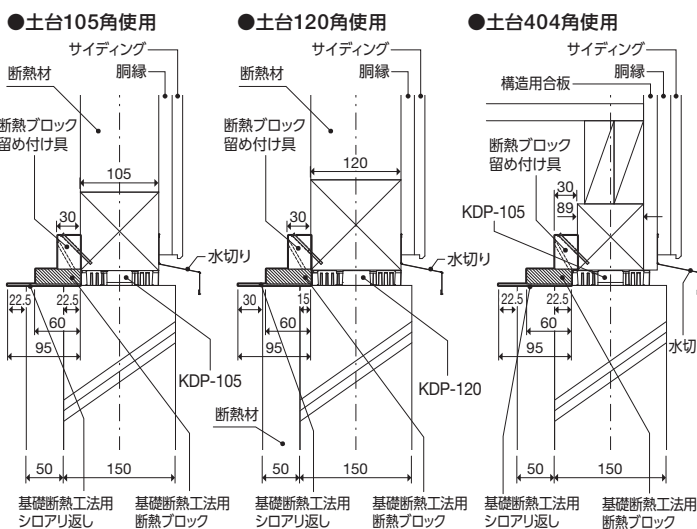
大引き敷き込み後に断熱ブロックを施工する場合は、断熱ブロックを大引き間の長さでカットして敷き込みしてください。土台と大引きが直交する部分は、別売品の断熱ブロックピースタイプを差し込んで使用してください。



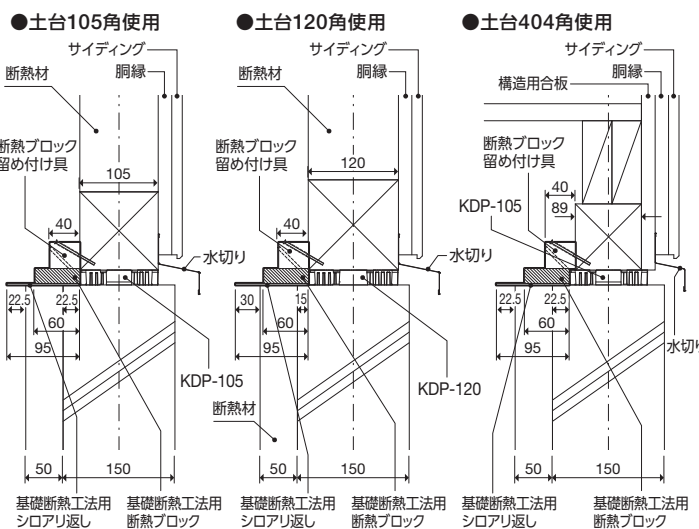
参考納まり図

内張断熱の納まり図

断熱ブロック留め付け具 縦置き

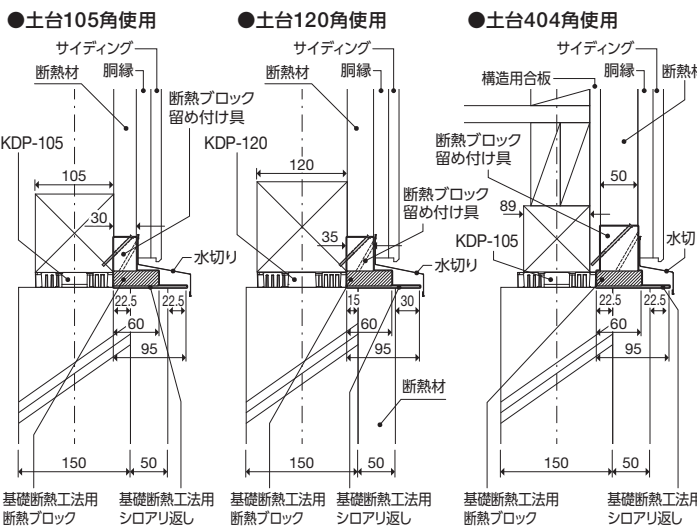


断熱ブロック留め付け具 横置き

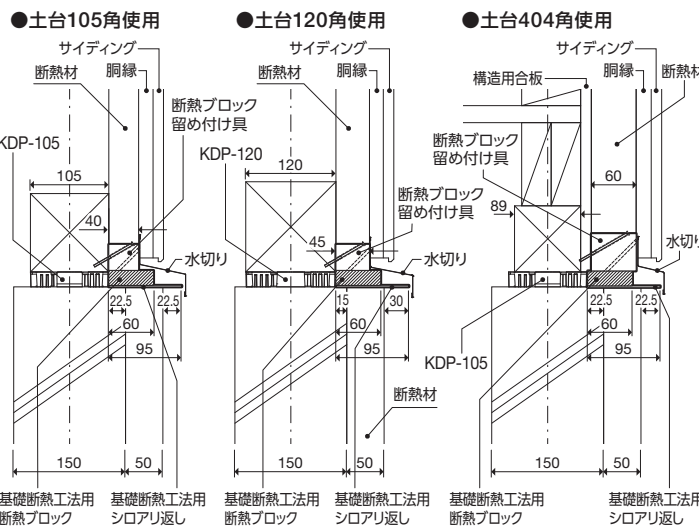


外張断熱の納まり図

断熱ブロック留め付け具 縦置き



断熱ブロック留め付け具 横置き



※上記イラストは、あくまで参考納まり図です。気密パッキン端部から基礎端部までの長さを15mm以上確保し、シロアリ返し断熱材端部より20mm以上張り出すことを確認してください。

